

新任担当者のための企業法務プロフェッショナル養成講座

突然、法務部門に配属されても、
自信をもって仕事をこなせるコツとスキルを身につけよう！

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2019年 10月 30日(水) 10:00~17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京・麹町)

<講師> 弁護士法人畑中鐵丸法律事務所 弁護士 畑中 鐵丸 氏

【講師略歴】東京大学法学部在学中に司法試験及び国家公務員試験I種に各合格。

新日本製鐵(株)勤務等を経て、米国留学。ペンシルバニア大ロースクール留学、ニューヨーク州司法試験合格後、Kirkland&Ellis 法律事務所勤務等を経て、弁護士法人畑中鐵丸法律事務所を設立し、現在に至る。多数の企業や政府機関の顧問弁護士を務めるほか、日本弁護士連合会債権回収に関する委員会(サービサー委員会)副委員長、日本商品先物取引協会あっせん・調停委員等を歴任。著書は「企業法務バイブル」シリーズ、「eビジネスロー」(分担執筆)、「戦略的コンプライアンス経営」、「ビジネス契約実務大全」(分担執筆)、「法律オンチが会社を滅ぼす」「こんな法務じゃ会社がつぶれる」等多数。



【申込方法】 当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・昼食代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用方法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	38,500円(本体価格 35,000円)	一般	41,800円(本体価格 38,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

191194-0303(※) 企業法務プロフェッショナル養成講座

ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([セミナー・会員研究会]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 セミナー事業グループ 担当/民秋 E-mail:tamiaki@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル2F

・プログラム・

- 企業法務の本質: 企業にとって、なぜ「企業法務」がそれほど大事なのか?
- 企業における企業法務の意義・重要性:
企業にとって、「法務」・「コンプライアンス」が最大の苦手科目である理由とは?
- 企業法務スキルの修得ロードマップ:
同期入社のあいつには教えたくない…「法務の分野で第一人者になる」ための極意
(1) 企業法務を担う組織の体制作り
(2) 企業法務セクションの役割
(3) 企業法務セクション運営のポイント
(4) 企業法務スタッフの育成・マネジメント
(5) 企業法務スタッフに求められる資質・能力と改善・向上のポイント
(6) 企業法務スタッフの具体的業務と段取りと各種インフラ活用術
(7) 企業法務セクションと他組織との関係構築
(8) 法務管理・予防法務
(9) コンプライアンスや内部統制、CSRといった課題への取り組みの仕方
- 企業法務リスク発見・特定技術: ビジネス活動や企業運営から、「法務リスク」をピンポイントで効率よく発見するスキルの身につけ方
(1) 企業の活動モデルの理解
(2) 企業活動と法令体系との整理・統合
(3) 企業の活動モデルと「法令違反リスク」のマッピング(ハザードマップの作成)
- 企業法務課題の対処スキル: 「法務課題・対策」のスマートプレゼン術
(1) 企業法務課題の取組哲学の再確認 (2) 効果的課題対処戦略プレゼン法
- 弁護士の見つけ方・つきあい方:
法務リスクをきちんとコントロールする為に必要なスキルについて
(1) 弁護士の本質と実体と生態 (2) 弁護士の使いこなし方
- 有事対応スキル: 会社が法務問題に巻き込まれたときの切り抜け方テクニック
(1) 法務トラブル対応(取引事故に伴う民事紛争)
・裁判所の特徴、裁判官の実体と生態
・民事訴訟の現実
(2) 不祥事対応(存立危機事態/シビアクシデントへの対応)
・有事対応哲学の再確認
・有事対応チームの組成
・有事対応の戦略と段取りのデザイン
・裁判回避戦略
・メディア対策・ネット対策・取引所対策その他有事外交戦略

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。